

年度	2023	開講学期	後期集中	単位数	2	時間割コード	R903
授業科目名	危機管理と復興			担当教員名	後藤 尚人		
授業科目名：英語	Risk Management and Reconstruction						
重複科目名							
セット科目名							
開講情報		曜日	時限	時間割コード		【凡例】 ：当該科目 ：同時に履修すべき 科目（セット科目）	
				R903			
主な対象学生	人文社会科学部 1,2,3,4 / 教育学部 1,2,3,4 / 理工学部 1,2,3,4 / 農学部 1,2,3,4						
科目の情報	科目の種別	教養教育科目		科目番号			
主な使用言語	Japanese						
履修上の条件							
担当教員情報	氏名（カナ）	後藤 尚人（ゴトノヲト）					
	担当教員名（英語）	GOTO Naoto					
	所属	人文社会科学部 人間文化課程					
	常勤・非常勤						
	研究室	人文社会科学部 1号館 305号					
	公式サイト	岩手大学 研究者総覧：http://univdb.iwate-u.ac.jp/html/144_ja.html researchmap：https://researchmap.jp/read0167943					
	個人サイト						
相談可能時間	相談可能時間：お昼休みに対応可能ですが、事前にメールで連絡してください。						
他の担当教員							
キーワード	危機管理 crisis management、復興 reconstruction、防災 disaster prevention、コミュニティ community、地域 region、地域関連科目						
学位授与方針との関係	この科目は、教養教育の学問知科目の地域関連科目として、「地域社会の現実に即して地域の課題解決に取り組む実践能力」の修得に貢献しています。			学位授与の方針			
				知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現
				20%	30%	40%	10%
授業の目的	いわて高等教育コンソーシアムが中核的人材育成事業として実施する「地域リーダー育成プログラム」のコア科目の一つで、危機管理や防災、コミュニティーの再生などについて学び、様々な状況に対応し得る能力と知見を修得する。同時に、地域が抱える諸問題について学び、それらを通して地域について考える。						
到達目標	* 危機管理について深い理解がある。 * 防災についての深い理解がある。 * 想定される災害時に対し、的確に振る舞うことができる。 * 地域の諸問題について把握し、きちんと説明できる。						
授業の概要	授業は14回の内容を、危機管理、災害医療、防災などのテーマごとに、それぞれのテーマについて集中講義形式（週末を利用）で、テーマに関連する実習等を取り入れつつ実施する。						
実務経験の有無と授業内容への反映							
授業の形式	土曜日の午後2コマ（講義やグループワーク）【13：30～17：00】として実施する。						
授業時間外の学習/予習・復習	各回の授業内容の詳細情報を確認の上、テーマに関する基本的な事項は下調べをしておきましょう。						
詳細計画（各回または週の具体的な授業内容、目標など）							
回/週	授業内容			予習・復習		備考	
1	「東日本大震災と岩手県での対応」（岩手大学：越野修三）			東日本大震災当時の新聞やWebの記事を読んでみましょう。		令和5年度は未定	
2	「東日本大震災と岩手県での対応」（岩手大学：越野修三）			東日本大震災当時の新聞やWebの記事を読んでみましょう。		令和5年度は未定	
3	「災害時の医療活動」（岩手医科大学：眞瀬智彦）			災害時の医療における新聞やWebの記事を読んでみましょう。		令和5年度は未定	
4	「災害時の医療活動」（岩手医科大学：眞瀬智彦）			災害時の医療における新聞やWebの記事を読んでみましょう。		令和5年度は未定	
5	「都市と景観」（東洋大学：神山藍）			地形と都市の関係について、盛岡を具体例に考察してみましょう。		令和5年度は未定	
6	「都市と景観」（東洋大学：神山藍）			地形と都市の関係について、盛岡を具体例に考察してみましょう。		令和5年度は未定	
7	「防災教育」（関西大学：城下英行）			身近な生活の中での防災を考えてみましょう。		令和5年度は未定	
8	「防災教育」（関西大学：城下英行）			身近な生活の中での防災を考えてみま		令和5年度は未定	

8		しょう。	
9	「いわてにおける防犯の現状と課題」(岩手大学:藤本幸二)	犯罪における新聞やWebの記事を読んでみましょう。	令和5年度は未定
10	「いわてにおける防犯の現状と課題」(岩手大学:藤本幸二)	犯罪における新聞やWebの記事を読んでみましょう。	令和5年度は未定
11	陸前高田被災地研修「NPO法人SETの取り組み(仮)」(SET石渡博之)	研修での体験をもとに、「被災地で生きる」ことについて、考察を深めてみましょう。	令和5年度は未定
12	陸前高田被災地研修「NPO法人SETの取り組み(仮)」(SET石渡博之)	研修での体験をもとに、「被災地で生きる」ことについて、考察を深めてみましょう。	令和5年度は未定
13	「震災遺構と災害文化」(岩手大学:後藤尚人)	授業で紹介された本を読んでみましょう。	令和5年度は未定
14	「震災遺構と災害文化」(岩手大学:後藤尚人)	授業で紹介された本を読んでみましょう。	令和5年度は未定
15			
16			
17			
18			
成績評価の方法と基準	評価方法	割合	評価観点
			関心・意欲 知識・理解 技能・表現 思考・判断
	平常点(授業への貢献度)	30%	
	グループワーク・発表等	20%	
	期末レポート	50%	
評価の基準(具体的に)			
<p>【平常点(授業への貢献度)】の評価基準(30点)</p> <p>*授業中に質問をしたり、積極的に自分の意見を述べる。ここままで10~15点</p> <p>*さらにオリジナルな観点や見解に基づいた指摘をしたり、独創的な意見を述べる。加算10~15点</p> <p>【グループワーク・発表等】の評価基準(30点)</p> <p>*グループワークに積極的に参加している。ここままで10~15点</p> <p>*グループでの発表等を的確にこなしている。加算10~15点</p> <p>【レポート】の評価基準(40点)</p> <p>*課せられたテーマについて正しい日本語で書かれている。ここままで10~15点</p> <p>*課せられたテーマの領域について、学問的成果や経験に基づいた知見を踏まえている。加算10~15点</p> <p>*オリジナルな観点に基づいた指摘や独創的な見解が述べられている。加算10~15点</p>			
履修における留意点	岩手大学のみならず、いわて高等教育コンソーシアム連携大学(岩手県立大学、岩手医科大学、富士大学、盛岡大学)の学生も受講する。		
教科書/教材			
参考文献			
コースリザーブ図書			